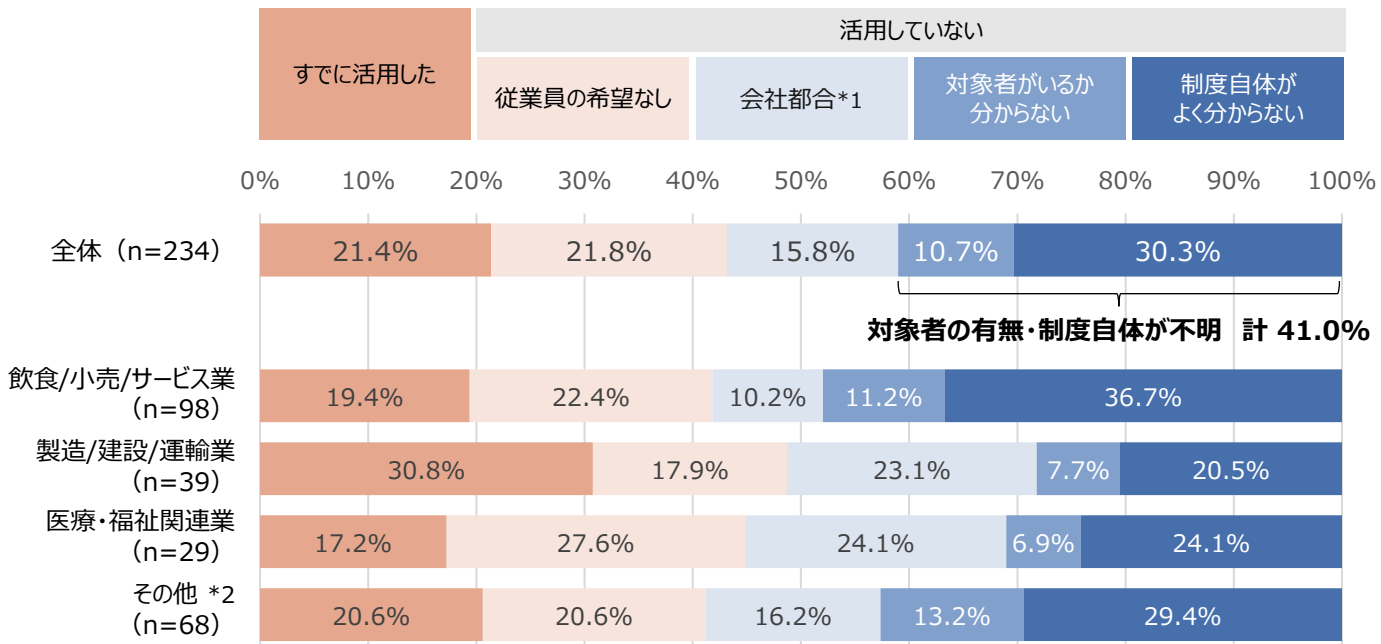


ジョブズコミュニティレポート 2025年1月号

年収の壁・支援強化パッケージ「対象者の有無・制度自体が不明」41.0% —制度の活用で“働き控え”解消のきっかけに—

Q. 貴社の「年収の壁・支援強化パッケージ」の活用状況について、当てはまるものをお答えください。

対象：年収106・130万円付近で働いている人 ※対象者がいない企業は回答から除外



*1：必要を感じない、検討時間がない、手間暇がかかる等の理由 *2：情報通信業/人材サービス業/他業種

短時間労働者が「年収の壁」を意識せずに働ける環境づくりを支えるための「[年収の壁・支援強化パッケージ](#)」。年収106・130万円付近で働く従業員がいる企業を対象に、キャリアアップ助成金の支給や被扶養者認定の円滑化等を行う施策で、2025年度末までの期間限定措置となっています。2023年10月から始まった本施策の活用状況を、経営者や採用担当者に伺いました。

全体では「すでに活用した」が2割、一方で8割は「活用していない」でした。その理由は「[制度自体がよく分からない](#)」「[対象者がいるか分からない](#)」が半数を占めています。開始から1年以上経った現在も、制度への理解が原因で活用に至らない企業が多いことが分かりました。

ジョブズリサーチセンターで行った[就業時間調整者に関する調査](#)によると、働く時間を制限する理由として「[年収の壁](#)」を挙げる人は27.8%、女性に限定すると37.7%でした。また、同調査では[働く時間を制限している人の約3割が勤務時間を増やしたいと回答しています](#)。

本パッケージの活用が、[従業員の働く時間を増やすきっかけになれば、人材不足を改善できるかもしれません](#)。まずは、厚生労働省のウェブサイトなどから情報収集したり、自社に年収の壁付近で働いている人がいるかを確認することから始めてみませんか。

- アンケート実施期間：2024年12月13日(金)～2025年1月10日(金)
- 有効回答数：262人
※対象者がいない企業は集計から除外
- 対象：人材インフォメールマガジン会員
(主な会員は経営者、人事担当者)

- 本レポートに関するお問い合わせ先
jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちらから
https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html

※レポート内の数値は、集計結果の小数第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります